

令和6年度（第1回）インターネット市民意識調査 結果報告

1 調査概要

調査地域： さいたま市
調査対象： さいたま市在住の18～69歳の男女
18歳から69歳までの5年代層において、各年代の男女各100サンプル、合計1,000サンプルに回答を得た。
調査方法： インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）
実施時期： 令和6年7月5日（金）～7月16日（火）
調査項目： 「健康に関する生活習慣等」「平和に対する考え」「自動体外式除細動器(AED)」「終活への関心」「市ホームページの利便性」

概要版

2 主な調査結果

★平和に関する事業で実施してほしいもの。
（上位5項目）（報告書P.14、3つまで回答）

1	子どもの頃から平和・戦争について考える機会を提供する	40.0
2	戦争の悲惨さを知る機会を提供する	24.5
3	平和・戦争に関連する史料に触れる機会を提供する	21.8
4	平和・戦争を題材にした映像に触れる機会を提供する	21.1
5	戦争を経験した人の経験談を聞く機会を提供する	19.5

(n=1,000) (%)

★AEDを設置した方がよい市有施設。
（上位5項目）（報告書P.16、3つまで回答）

1	公園	47.5
2	コミュニティセンター	32.5
3	スタジアム	32.4
4	文化施設（市民会館等）	30.5
5	公民館	28.3

(n=1,000) (%)

★重要だと考える「終活」の内容。
（上位5項目）（報告書P.21、複数回答）

1	身の回りや持ち物の整理	70.0
2	財産の整理	69.5
3	認知症になった場合の備え	50.1
4	パソコンやスマホのデータ整理	48.8
5	相続の準備	46.8

(n=1,000) (%)

★さいたま市のホームページに望むことは。
（報告書P.29、3つまで回答）

1	情報が探しやすい	44.1
2	内容がわかりやすく簡潔にまとめられている	38.7
3	スマートフォンの画面でも見やすい	22.4
4	情報量が豊富	20.8
5	災害時でも確実に利用できる	15.1

(n=1,000) (%)

★日常生活において、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人は、全体の60%。
（報告書P.5）

詳しくは、市ホームページで、報告書本編をご覧ください。
<https://www.city.saitama.lg.jp/006/002/004/p017090.html>
トップページ>市政情報>広聴・市民参加・アンケート>市民アンケート>さいたま市インターネット市民意識調査

R6.8月
さいたま市長公室
秘書広報部広聴課
企画係